

これからの農業経営を考えるマーケティング情報誌「アグリカルチュアル・マーケティングニュース」

AGRI CULTURE Marketing NEWS 2018 WINTER



農業にマーケティングを活用しよう！

増える6次産業化への取り組み
お客様に選ばれる
商品開発のポイントは？

主婦100人に聞きました。
**農家が作る加工品に
求めることは？**

チャレンジする農業をレポート!
**地域ぐるみで
取り組む商品開発**

農業にマーケティングを活用しよう!

商品を作るときに気を付けることは?



6次産業化 に向けた 商品開発

近年6次産業化が推奨され、皆さんも商品開発を考えることのあるのではないでしょうか？6次産業化とは、農業や水産業などの1次産業の従事者が、農産物などの生産物を原料とした食品加工（2次産業）や流通販売（3次産業）まで取り組むことを指します。作った農産物の付加価値を高めるために商品開発をするわけですが、ここで重要なのは「マーケティング」の考え方。マーケティングのポイントはお客様視点で考えることです。誰がどんなシーンで使うか明確な商品は販売もしやすくなります。今回は農産物を使った商品開発のポイントや、消費者が気にすることを誌面でお伝えします。



消費者が
気になるポイントを
知ろう!

主婦100人に聞きました!

農家が作る加工品、 買うポイントは何ですか?

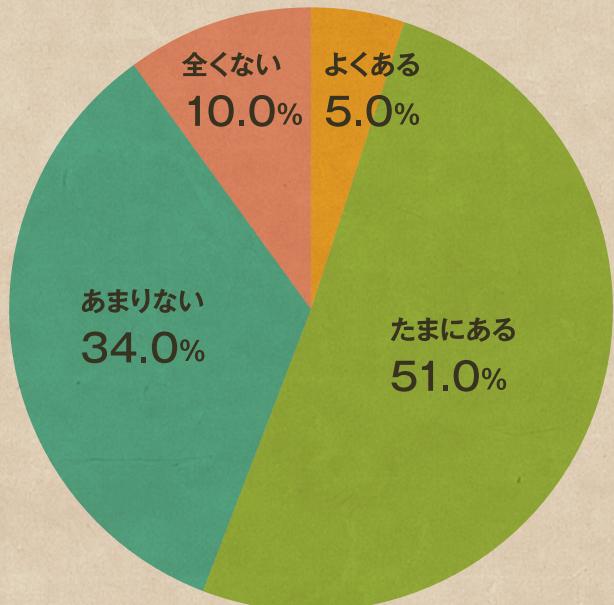
静岡県に住む主婦の皆さん、

農家が作る加工品(6次産業化商品)をどのように購入しているでしょうか?

アンケート結果によると、**半分以上の人人が農家が作る加工品を購入**しており、選ぶ際のきっかけとしては「味が美味しいこと」はもちろんのこと、「安全性」や「農薬・添加物の有無」もポイントになっているようです。

DATA.1

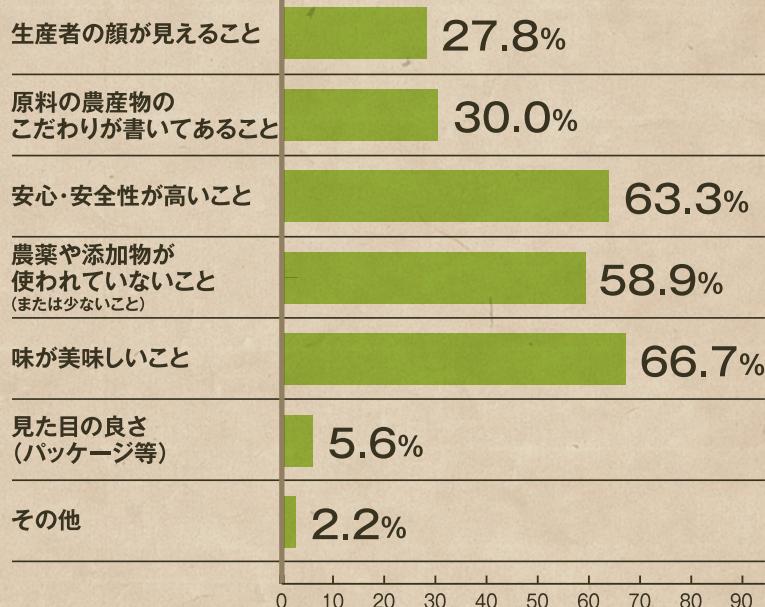
農産物を育てている「農家」が作る加工食品を買うことがありますか?



DATA.2

「農家」が作る加工食品を買う場合、何が買うきっかけになりますか?

(買ったことがあると答えた方90名に質問／3つまで選択)



① 6次産業化商品へのニーズは高まりつつある!?

農家が作る加工食品をよく買う・たまに買うという人は約6割。まだスーパーなど日常の買い物で出会う機会が少なく、頻繁に買う人は少ないかもしれません。国としての6次化支援は増えており、今後取り組む農業者は増えていきそうです。



② 求められているのは「安心感」。

DATA2の結果を見ると、6次化商品を買う理由として、安全性が高いことや農薬・添加物が使われていないことが重要であることがわかります。この点をパッケージやPOPでアピールすることで、お客様に手に取ってもらいやすくなるでしょう。

取材

チャレンジする農業をレポート!

新しいことに取り組んでいる事例をご紹介。

主婦目線の

商品開発

清沢式

ぶつかけレモン

清沢レモン



地域を元氣にするための
商品開発への取り組み

農家さんと協力して
美味しい安全なレモンづくり

Q ぶつかけレモンが作られた背景は?

A 地域でのレモン栽培とともに、このレモンを販売するための商品開発に取り掛かりました。住民からアイデアを募集して色々な案が集まりましたが、あるお母さんがネットで見つけたレモンドレッシングのレシピをベースに改良していきました。

主婦目線で欲しいと思える
便利な万能調味料

Q どのように
商品アイデアを選定したのですか?

A レモンとお酢がさっぱり香る「清沢式ぶつかけレモン」は、唐揚げや焼き肉、焼き魚にかけたり、野菜と一緒に幅広く使えます。また、マヨネーズと一緒にタルタルソース、しょうゆと混ぜたらポン酢になる等、何にでも使える簡単の一品で作るのは忙しい主婦として助かるなと思ってこの路線で進めました。地元のお母さんたちも日常的に使っており、その便利さが好評いただいているのだと思います。



Q 原料のレモンの確保のために
やっていることはありますか?

A 清沢レモンは基本的に農業を使わずに栽培しています。質の良いレモンを安定的に作るため、専門家による講習会や生産者の会合を行っています。レモン部のみんなで農家さんを取り、コミュニケーションもどるようにしています。市内の居酒屋さんがレモンサワー や料理に、地ビールメーカーさんがレモンビールに使ってくれたりと、少しづつ清沢ブランドのレモンが広がっています。

地域の協力者も増え、
販路も徐々に拡大中

Q 販路はどのように開拓していますか?

A 現在は清沢地区内の里の駅やJAのふるさと茶屋のほか、雑貨屋さんや食材屋さんでも販売しています。イベントに参加したり、置いてくれるお店を友達の紹介で探したりと、営業活動も自分達で行います。例えば藤枝市にある雑貨屋「アーチのお気に入り」さんは、可愛いPOPを作って販売してくださっています。問い合わせが増えてきたので、ネット販売もこれからスタートするところです。

この商品はスタッフも実際に色々試して、使い方をお客様にご紹介していますが、リピーターさんも多いです。色々なお料理に使えるところや、地元で作られているというところが魅力だと思います。

JAの支援は終わり、平成29年度から清沢地区に住む若い母親たちが、NPO法人フロンティア清沢のレモン部として運営しています。

ポイント

消費者となる主婦の目線で
欲しいものを作っている。

地域で連携して
地域のブランドを育てている。

販路も独自で開拓し、
リピーターを増やしている。

平成29年度の
申込受付中
2月28日まで

JABANK静岡からのお知らせ 《新規に就農される農業者を応援します!》

新規就農応援事業

JAの新規就農応援事業では、就農直後における経営の安定を支援する「新規就農者営農支援事業」と、研修受入先による多様な育成研修の実施を支援する「新規就農研修支援事業」の2つの支援を行っています。

【新規就農者営農支援事業】

●対象者 独立新規就農者

※親元就農の方は「親元就農支援事業」をご活用下さい。

●対象費 材料費、製造経費、研修費等の農業費用

●助成要件 認定新規就農者、かつ、独立就農であること

・就農後3年以内、かつ、18歳以上45歳未満であること

・申請時点で営農しており、今後も継続する見込みであること

●助成金額 1人あたり年間最大20万円(1人あたりの申請は3回まで)

【新規就農研修支援事業】

●対象者 研修受入先(農家、農業法人、生産者組織等)

●対象費 研修生のために負担した資材費、食費、住居費等の研修費用

・恒常的、かつ、1年以上にわたって実施される実践的な研修であること

・研修生が、①18歳以上65歳未満であり、かつ、

②独立就農もしくは親元就農後5年以内に経営承継が見込まれる方であること

・その他の先…研修生1人あたり月額最大1万円(研修生1人あたり24か月分まで)

※詳しくはお近くのJAにお問い合わせ下さい。

発行:静岡県信連 農業部

〒422-8621 静岡市駿河区曲金3丁目8番1号 [電話]054-284-9528 <http://www.jabank-shizuoka.gr.jp/shinren/>